

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3891300059
法人名	有限会社 スローライフ
事業所名	まちなか
所在地	四国中央市川之江町字馬場2083番4
自己評価作成日	平成21年7月2日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月15日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

この事業所は、ご利用者とちょっと外出するには、とても便利な”まちなか”にあります。こじんまりとした家庭的な事業所です。あまり大きな事業所ではないため、ご利用者と職員の距離も近く、目配り、気配りが届きやすい事業所です。そのためか、かなり高齢なご利用者もいらっしゃいますが、皆さんお元気で生活されています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

ご家族の来訪時には、ご本人の様子を伝え、希望や要望を聞いておられる。今年、利用者個々に担当職員が決まり、暑中見舞いでお知らせされた。又、管理者の交代もあり、管理者は、ご家族個々のご自宅を訪ねてあいさつをされた。  
障害者雇用にも積極的に取り組まれている。市からの依頼を受け、法人内のデイサービスと協同で、認知症サポーター養成講座を行われた。又、10月には、キャラバンメイト養成講座も行うことを予定されている。  
勤務表は、職員が交代で作成されている。職員の提案でプランターに野菜やお花を植え、利用者と一緒に水遣りをされている。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. <b>利用者の1/3くらい</b> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

まちなか

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

高橋 俊道

評価完了日

平成21年7月2日

# 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	<p>理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>(自己評価) 認知症対応型共同生活介護事業所としての事業理念は共有・実践できつつあると思われるが、地域密着型サービスとしてのグループホームのあり方や役割・機能としての理念は、ご利用者・地域の方々、職員、行政担当者と協議しながら、決定していきたいと思っています。</p> <p>(外部評価) 職員会議等で理念について話し合われたり、日々のケアについても理念に立ち戻り、確認されることもある。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>(自己評価) 所在地の自治会に参加させて頂き、地域の行事や情報(回覧板)の収集を行い、利用者とともに参加できるように取り組んでいる。外出時は、近隣の方から声をかけて頂いたり、挨拶を交わしたりと事業所の存在が地域に認識されつつあると思っています。</p> <p>(外部評価) 利用者の外出時、近所の方が声をかけてくれることもある。又、近所の理髪店の利用や近くの保育園の園児の訪問が定期的であり、一緒に折り紙や紙芝居を楽しまれている。市内の他グループホームの大正琴の発表会を見に行かれたこともある。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>(自己評価) 見学や相談はいつでも対応させて頂いています。入居相談や待機されているご家族の方には、認知症介護での相談や社会資源の活用方法について困った場合は、いつでも相談に対応しますとご提案しています。今後は、認知症サポーター養成等で地域の方々にも取り組んでいきたいと思っています。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価)  運営推進会議は、茶話会のような雰囲気に参加委員が遠慮なく話し合いができるような場になるように配慮しています。参加者のご提案やご助言を実現可能なことから取り組んで、サービス向上に努めています。	
			(外部評価)  会議を2ヶ月に1回開催されており、事業所の行事や利用者の様子を報告されている。地域の方からお花見によい場所を教えていただいたり、地域で開催されるお祭りについて情報を教えてもらっている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価)  管理者は、定期的に市役所へ出向き、市町村担当者との情報交換に努めています。	
			(外部評価)  法人代表者は、市内外で認知症ケアの向上に向けて研修講師等で行政と協働されている。又、障害者雇用にも積極的に取り組まれている。市からの依頼を受け、法人内のデイサービスと協同で、認知症サポーター養成講座を行われた。又、10月には、キャラバンメイト養成講座も行うことを予定されている。市の介護相談員を受け入れておられる。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)  玄関及び各居室の窓にも施錠はしていません。身体拘束をしないケアを実践していますが、左記のような手段だけではなく人権についての意識が低下しないように日々、職員間で相互確認するように取り組んでいます。	
			(外部評価)  調査訪問時、玄関は開放されていた。身体拘束については、職員個々がマニュアルに目を通している。	

# 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員会で高齢者虐待防止法について学ぶ機会を持ちました。日々、虐待の定義を確認し合い発生の防止に努めています。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 対象となるご利用者がいないため、事業・制度の活用は実施されていません。今後、発生した場合に備えるとともに専門職としての基礎知識として学ぶ機会を設けていきたいと思っています。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 左記の状況時は、わかりやすい通知・文書等を作成し、なおかつ口頭で説明するように心がけています。不明な点については、必ず確認するようにしています。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 会議というような方策ではありませんが、日常的な会話の中から利用者・ご家族のご要望やご意見を確認するように努めています。ご要望やご意見については、職員全員が実践できるように申送にて共有し実践に取り組んでいます。	
			(外部評価) ご家族の来訪時には、ご本人の様子を伝え、希望や要望を聞いておられる。今年、利用者個々に担当職員が決まり、暑中見舞いでお知らせされた。又、管理者の交代もあり、管理者は、ご家族個々のご自宅を訪ねてあいさつをされた。 今後、利用者と担当職員で、ご家族宛にお手紙を書くことを計画されていた。又、事業所便りの作成等も検討されていた。管理者は、ご家族との関係作り等にも力を入れて取り組んでいきたいと考えておられ、ご家族が知りたいような情報や心配事等も探り、ご家族との信頼関係作りに向けても、定期的に報告できるような取り組みをすすめていかれてほしい。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			事業所での課題や職員の意見については、毎月1回、会議を儲け、事業運営に反映させています。	
			(外部評価)	
			勤務表は、職員が交代で作成されている。職員の提案でプランターに野菜やお花を植え、利用者と一緒に水遣りをされている。又、職員のアイデアで、利用者の居室の表札の上に折り鶴で目印を付け、「鶴のお部屋」と呼んでご本人が間違いにくいようにされていた。	管理者は、職員と協力し合って、より良い事業所の環境作りをすすめていきたいと考えておられた。全職員でチームケアに取り組み、事業所のケアの質向上を目指していかれてほしい。職員が集まり、知識や技術について勉強されたり、ケアの質向上に向けて話し合う機会を増やされてほしい。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			左記のように取り組んでいます。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			可能なかぎり、専門的な法人内外の研修に積極的に参加しています。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			毎年、相互評価事業に参加し、同業他社の取組みについて学び、当事業所のサービス向上のための取組みの参考としています。また、毎月1回法人内の管理者同士で会議を行いサービスの向上のための取組みを行っています。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居前の面接時から、本人の意向や不安を表情や言動から確認し、入居前に職員間で情報の共有を行っています。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用相談開始時期から、互いに話しやすい関係構築に留意し、意向や不安・不明な点を確認し、対応していくように努めています。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用開始時の本人や家族の表情や発言から、「その時」の”思い”を見きわめ、適切な社会資源の選択・提案を行うように努めています。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご利用者ごとの生活歴や日常生活上のできること・できそうなことの観察・評価を行い、生活上での活躍の場面を提供するように努めています。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族もご利用者として捉え、ご利用者を一番理解し、理解しようとしているのは、ご家族であることを常に認識し、家族とのさりげない会話の中から意見や助言を引き出し、ご家族とともにご利用者の支援内容を検討していくように努めています。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居前の聞き取りやご利用予定者・ご家族の事前見学時の意向や提案等を取り入れ、入居開始時の環境変化の緩和に努めるとともに、既に入居されているご利用者との関係が円滑に確立できるように支援しています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>外出時、利用者の学生時代の知り合いに出会うこともある。</p>	

# 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ご利用者間が自然に相互援助できるように、職員は、日常の支援のなかでさりげなく利用者間の関係調整を行うように配慮しています。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 介護保険施設等へ退居した利用者のもとへ利用者とともに継続的に面会におもむき、関係性の継続を支援するように努めています。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご利用者一人ひとりからの聞き取り時の言動やその時の表情の観察を行い、ご利用者ごとの意向の確認に努めています。また、定期的及び必要に応じてご家族から助言を頂き、ご利用者の思いや意向の確認を行っています。	
			(外部評価) 入居時、ご家族にご本人のことについて、アセスメント表に記入してもらっている。外出時、学生時代の知り合いと出会い、おしゃべりの中からお若いころの様子を知ることができた。	ご本人主体の生活を支援していくためにも、利用者個々のアセスメントの充実をすすめていかれることが期待される。生活歴やできることやできそうなこと、興味のあることや好み等、いろいろな情報を集めて介護計画に反映していかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居前にご家族にアセスメントシートの記入を依頼し、ご利用者ごとの生活文化の把握に努めています。また、ご利用者の日常会話の中から把握できた情報を職員間で共有するように努めています。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 朝の送りや定期的に職員間で話し合いを行い、現状の把握に努めています。	



## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	<p>事業所では、職員個々が利用者個々の介護計画を立てることができるようになることを目指しておられる。ご本人の思いを中心に、日々利用者にかかわる全職員の気づきや、ご家族の要望等もお聞きしながら、介護計画の作成に取り組みまれてほしい。</p>
			<p>介護計画の立案は、本人の思いやご家族からの提案や助言を頂き、職員間で日々意見交換を行い立案を行っています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>記録様式に支援上での気づきを記入する欄を設け、記録化するとともに、職員間での情報共有を行い、介護計画立案時に反映されるように努めている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>生活を支えることは、生活全般における支援であることを認識し、さまざまなニーズに幅広く対応できる事業所になるように努めていきたいと思っています。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	
			<p>ご利用者の生活は、事業所内で完結するわけではなく、事業所外の必要な地域資源の活用のなかから、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるように努めています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) ご利用者及びご家族の意向を尊重し、なるべく入居前 からのかかりつけ医の医療が受けられるように支援し ています。健康管理のため定期受診を行い、受診時に は、事業者での生活状態の情報提供を行い、適切な医 療が受けられるように支援しています。</p> <p>(外部評価) 現在、利用者の受診には、職員が付き添っておられ る。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価) 職場内の看護職員に、個々のご利用者の健康状態につ いて報告し、専門的な知識からの判断により、適切な 受診や看護を提供できるように努めています。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) やむなくご利用者が入院した場合は、情報提供書及び 口頭での申し送りにより必要情報の提供を行っていま す。状態が改善され通院で可能な医療については、早 期に退院し通院で対応していくように、ご本人、ご家 族及び主治医と協議を行っています。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 重度化した場合や状態が変化した場合は、早期にご本 人、ご家族、その他の関係者と協議を行い、今後の方 針について共有・支援していくようにと考えていま す。</p> <p>(外部評価) 事業所では、利用者の状態に変化が生じた場合、その 都度ご家族と相談されており、医療機関にもつなげら れるような体制となっている。ご家族の中には、事業 所で最期を迎えたいと希望されている方もある。</p>	<p>事業所で看取りを支援できるような体制作りを、すす めていきたいと考えておられる。今後、職員の介護技 術の向上等、勉強を重ね、利用者、ご家族の要望に応 じられるよう、取り組んでいきたいと考えておられ た。</p>

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時の対応マニュアルを備え、事故発生時に備えています。また、応急手当や初期対応の訓練のため消防署で実施される普通救命講習への参加を行っています。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練を実施するとともに、避難場所の確認及び地域との協力体制については、運営推進会議等で地域の方への協力依頼を行っています。  (外部評価) 避難訓練を行われた。	今後、消防等の協力を得て、避難訓練を行ったり、いざという時に職員がどう行動するかということを示したマニュアルの作成等も検討されていた。地域との協力体制作りに向けても、取り組みをすすめていかれてほしい。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 職員は、ご利用者への言葉かけの表現内容には、十分に留意するように職員間で話し合っています。  (外部評価) 調査訪問時、職員は、利用者に声をかけてから介助されている様子がうかがえた。食事時、胸元にタオルを掛け、エプロンの使用は控えておられる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ご利用者ごとに理解しやすい問いかけの表現や選択肢の提案、なるべく自己決定ができるように、ご利用者ごとのペースに配慮した支援を心がけています。	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ご利用者の生活については、細かい日課を決定せず、ご利用者ごとの生活のリズムやスタイルを尊重するように努めています。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 更衣時は、衣類を数点用意し、ご利用者の好みに合わせて着用できるような支援を行っています。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ご利用者が参加できるような雰囲気づくりに努めています。食事は、ご利用者と職員と一緒に準備し、食事、片付けを行っています。	
			(外部評価) 利用者と職員とで食事作りをされており、男性の利用者もごまを擦る等、食事作りにかかわっておられる。食材の買い物に行かれたり、食べたいものやメニューについても、利用者と相談しながら決めておられる。盛り付けや配膳、後片付けをされている利用者の姿もうかがえた。	時に、事業所の食事やおやつの内容やバランス等についても、ご家族や外部者からご意見をいただくような機会を作ってはどうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ご利用者ごとに生活健康記録表を作成し、食事・水分摂取量の把握を日々行い、状態に応じて提供するものの配慮や変更を行い必要量の確保に努めています。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) ご利用者ごとに促しや必要に応じ介助を行い、口腔内の清潔保持に努めています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) ご利用者ごとの排泄記録表を作成し、記録表から排泄のパターンを確認し、トイレへの言葉かけ、誘導を行っています。やむなくオムツを使用しているご利用者にも原則トイレ介護を行い、トイレでの排泄を支援をしています。 (外部評価) 洋式トイレに慣れていない利用者のために、使い方を図示しておられた。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘の改善は、緩下剤だけに頼らず、水分摂取量の強化や適度な運動、入眠前の飲食物の工夫を行っています。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴は、毎日、対応させて頂いています。ご利用者が入浴したい、入浴しようと思っている時に入浴できるように支援しています。 (外部評価) 入浴の時間は特に決めず、日中、夕方食後に入る方等、利用者の希望や様子を見ながら支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) ご利用者は、過ごしたい場所で自由に過ごすことができるように支援しています。入床後は、睡眠時不快なことにならないように寝具及び居室内の室温に配慮しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ご利用者の薬剤については、ご利用者ごとに個別のファイルを設け、左記の情報について、いつでも確認できるように保管しています。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ご家族にご記入いただいた生活歴や日常でのご利用者の言動を参考にして、左記についての働きかけを行い支援しています。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 事業所内での生活で完結するのではなく、ストレスの緩和や外部の娯楽等へ積極的に外出するように努めています。	
			(外部評価) 買い物や散歩に出かけたり、運営推進会で教えて頂いた場所にお花見に行かれたり、近所のお寺のぼたんの花も見に行かれた。	さらに管理者は、外出を増やして利用者の生活を拡げていきたいと考えておられる。ご本人の行ってみたい場所や馴染みの場所に出かけられるような支援や、日常的に出かけてみたくなるような雰囲気作り等にも、積極的に取り組まれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご利用者及びご家族の意向に応じ、お金を管理しているご利用者もおられます。外出時は、ご利用者ごとの力に合わせて買物の支援を行っています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご利用者ごとの意向に合わせた対応を行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共用の空間には、ご利用者にとって家庭的で過ごしやすい環境になるように古い家具を準備しています。また、カーテンでの光の調整や観葉植物の活用にて、家庭的で居心地のよい環境の整備に努めています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>本棚の童話、昔話や新聞を読まれる方もいる。台所のテーブルは利用者が使いやすい高さに配慮されている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>広い事業所ではないため、独りになれる共用空間はありませんが、ご利用者ごとに空間に使い分けを行っている様子です。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入居前の調整時にご本人、ご家族に依頼し、なるべく使い慣れた馴染みの物品の持込を依頼しています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には、タンスや鏡台、文庫箱等が持ち込まれていた。畳を敷いている方やお部屋でテレビを見られる方もいる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>居室、共用場所の物品及び家具等は、ご利用者の力に応じて配置し、自発的な行動の誘発や安全な環境づくりに努めています。</p>	